

バイトで変わった女の子

彼女が中学1年生の時の担任の先生に話を伺った。彼女は、他の生徒は〇小学校→〇中学校と進学する中で、先生自身初めての転校生だった。彼女は、自分から進んで同級生に声を掛ける子ではなかった。クラスは男子15人、女子11人の学年2クラスだった。気の強い女子が4人いて、2対2に分かれていた。その4人の女生徒は自身の仲間を増やすため、2学期頃から先生方の目を盗んで、多くの同級生をいじめ始めた。それが3学期まで続いた。残念なことだが、担任の先生もそのいじめに気づけなかったと言う。しかし、クラスの男の子たちは、彼女らいじめられた子たちを庇い支えていたと、2年生になって聞いた。

担任は、彼女が前髪を伸ばしていることが気になっていたと言う。しかし、理科の教科委員の仕事は、同級生に大きな声で指示を出してやっていた。国語と理科が好きなようだったが、成績は殆どが2。定期試験も好きだったと言う国語と理科は、良くて50点満点中20点台だった。特に英語と数学が苦手でも、プライドは高くできないことは知られたくないようで、分からなくても絶対人に聞かなかった。好きな国語も含めて英国数の毎日の課題は大変で、居残り勉強になることもあったと言う。

思っていることが言えない子だったが、決して気が弱いわけではない。負けず嫌いではあった。優しい子だったと言う。小学校でテニスをやっていたようだが、本校にはテニス部がなく、それでは吹奏楽を希望したが、それも本校にない。仕方なく卓球部に入った。しかし、その気の強い子とペアを組むことになり、お互いに休むことが多く、殆どペア練習できずに試合に挑んだ。結果は言うまでもない。他の気が強い子も卓球部に入ってきたので、ペアを組めなくなり、卓球部をやめた。テニスをやっていたので、卓球は勘が良かったと言う。仲の良い友達が2、3人できた。彼女の優しさ故か、勉強がとてもできない男の子が彼女に頼ってくるようになった。それ故、彼女は仲間はずれにはならなかった。

2年生のクラス替えで、彼女のクラスには気の強い女子生徒はいなくなった。いじめられた他の子たちを引き続き支えるためか、支えてくれた男の子たちの殆どが別クラスになってしまった。再び転校生の状態になった。唯一仲の良い友達の一人が、同じクラスになり救われた。大好きな理科の先生が担任になったが、苦手な男の先生だった。10月、遂に不登校になった。11月に島田市で行われた県教委主催の合同相談会で、彼女のご両親が私達の相談ブースに来られた。

結果、その数日後から彼女は、当フォーラムのグループが運営する予備校に入学して、毎日当該中学校の出席認定を受けながら学習し、県立高校通信制課程に入学した。この間、何回かの当フォーラムが主催する毎月の野外活動や長期休暇時の交流合宿に誘うが、一度も参加しなかった。

ところが、高校1年生の夏休み前、突然彼女が私の元に来た。店員募集チラシを手に「コンビニの店員のバイトをやりたい」と相談された。ご両親からも驚きのラインが来た。「いいじゃないか、挑戦してみたら。でも、ごめんね、その前髪は切った方がいいと思う。それに、お客さんには無理してでも笑顔で挨拶しようね!」と、彼女にアドバイスした。

それから1か月程経った頃、彼女が初めて生き生きした笑顔で予備校に入ってきた。「せんせい、わたし、見知らぬお客さんに、『あなたの笑顔に元気づけられたよ。ありがとう！』と言われたよ。」と、嬉しさに涙ぐみながら報告してくれた。